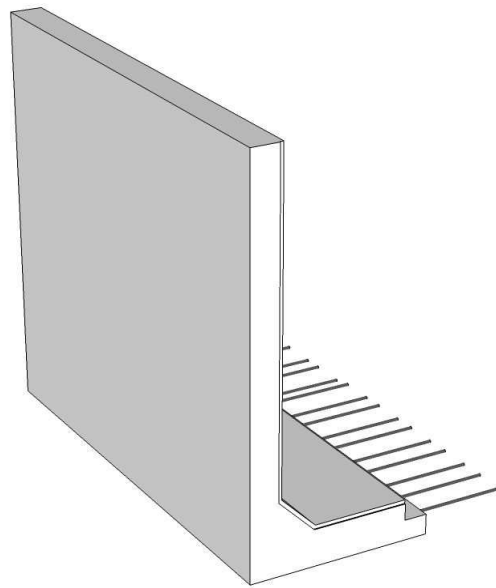




L型水路 施工マニュアル



松阪興産株式会社



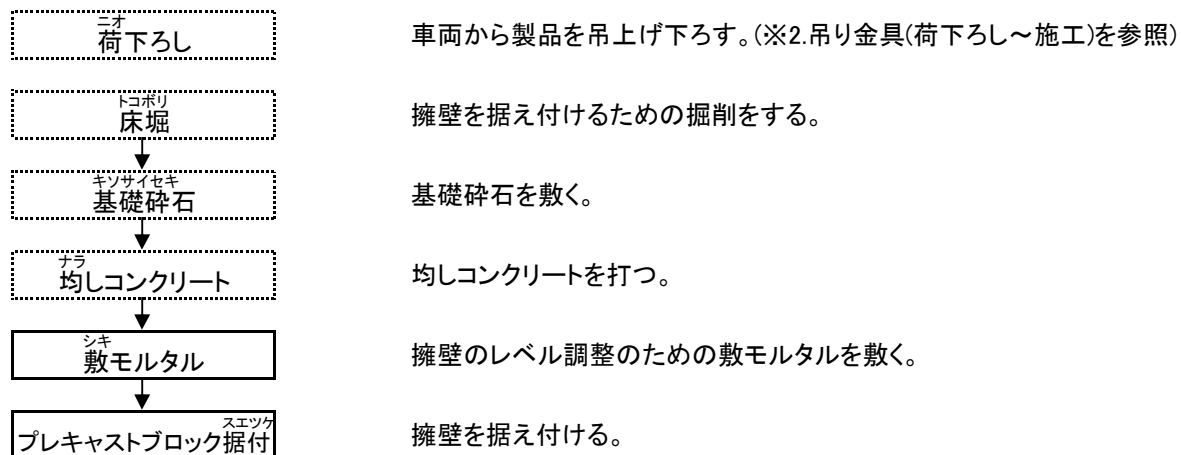
1 L型水路の施工の流れ

3-1 「L型水路の施工手順ってどうなりますか？」



一般的な施工手順は以下ようになります。場合によっては、省略される手順や追加される手順もあります。

プレキャストL型水路は、現場打ちコンクリート擁壁に比べ、施工が簡単で工期が短い等のメリットがあるので、様々な断面形状にて数多く施工されています。

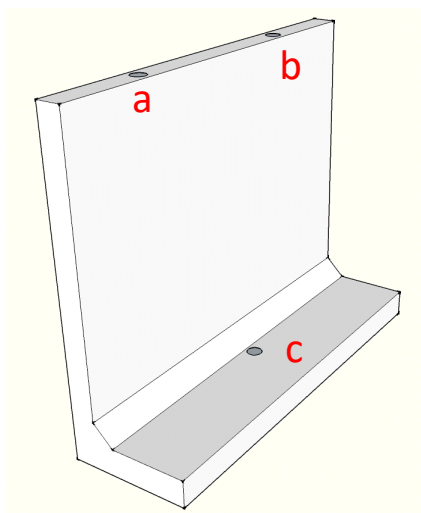


2 吊り金具(荷下ろし～施工)について

2-1.吊り金具

製品1本当り3箇所に吊上げ用アンカーが埋め込まれており、吊上げ時はワイヤーロープとカップラーを取り付けて3点吊りとする。L=1.0mなどの短尺製品や斜切り製品についても、3点吊りとなる。揚重角度、重量に対応したワイヤーを3本選定し、3点吊にて揚重を行って下さい。

アンカーの埋込状況



使用器具一覧

	縦積み	平積み
荷下ろし	カップラー 3個 ワイヤーロープ(短) 2本 ワイヤーロープ(長) 1本	カップラー 3個 ワイヤーロープ(短) 1本 ワイヤーロープ(長) 2本
引き起こし		カップラー 3個 ワイヤーロープ(短) 2本 ワイヤーロープ(長) 1本
施工	カップラー 3個 ワイヤーロープ(短) 2本 ワイヤーロープ(長) 1本	

※ワイヤーロープやシャックルは各自で準備をお願いします。



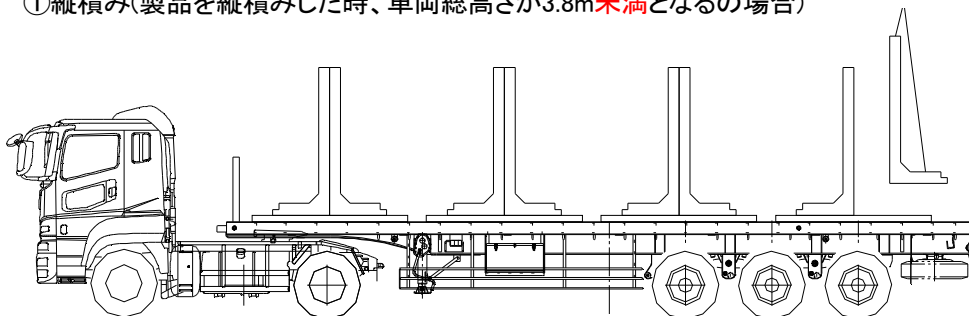
2-2.荷下ろし

L型水路の大型車両による運搬時の荷姿および荷下ろし状況は、以下の通りである。

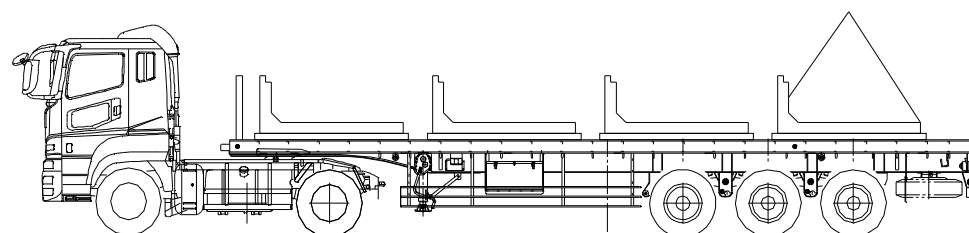
(1)擁壁規格高さ H600～H3000

1)荷卸し

①縦積み(製品を縦積みした時、車両総高さが3.8m未満となる場合)

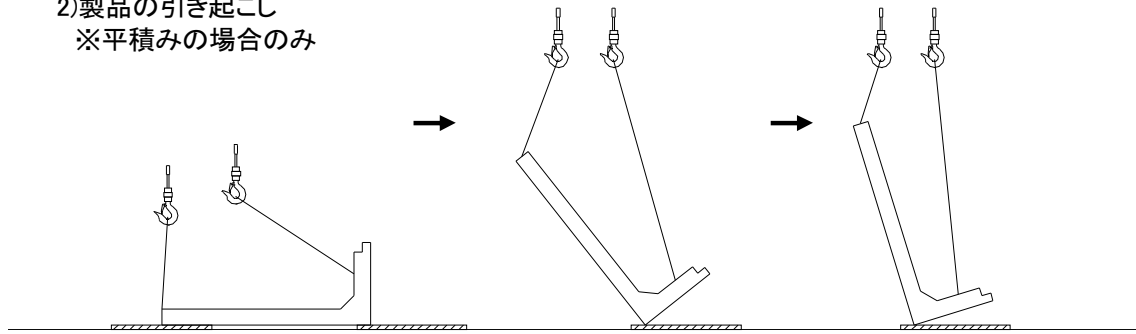


②平積み(製品を縦積みした時、車両総高さが3.8m以上となる場合)



※車上での反転作業は不安定なので絶対に行わないで下さい。

2)製品の引き起こし
※平積みの場合のみ



- ①沈下や転倒しないように凸凹のない平坦な地面で作業を行う。
- ②底版側に敷木等(角欠け防止用)を設置し、たて壁側のワイヤーロープを巻上げながら引き起こす。
- ③製品重心位置が底版側に移ると、製品自体が急激な回転を起こすので重心位置が底版に近づくに連れ、ゆっくりと引き起こす。

※クレーンの親・孫フックを同時に使用しての空中反転作業の禁止

空中反転は設計外となり、安全確認が一切取れていないので、絶対に行わないで下さい。

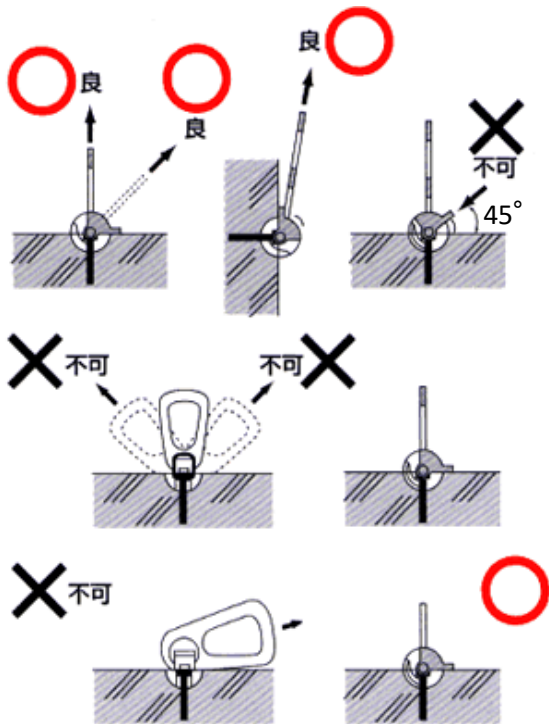
※安定した置き方で保管すること

底版が短い製品形状のため、重心が偏っています。斜切製品等の役物については特に注意してください。

2-3.施工

- ①基礎コンクリートの据付け位置に墨入れして下さい。
- ②敷きモルタルが適切かつ水平度を確認したのち、製品を水平に吊り上げ、墨打ちに合わせて静かに設置して下さい。製品を水平に据付けるために、高さ調整を行います。
- ③設置した製品の水平度を確認して下さい。水平度の調整が不十分な場合には、水平度が満足されるまで上記②～③の工程を繰り返します。
- ④一旦据付けた製品を再度吊り上げ、最終的に敷きモルタルの充填状況を確認して下さい。充填状況が不十分な場合、敷きモルタルを追加する等の修整を行い、②～④の工程を繰り返します。
- ⑤敷きモルタルを乱さないように所定の場所に本据付けを行って下さい。
- ⑥順次、②～⑤の工程を繰り返します。

3. アンカーに対するカップラーの取り扱い



①カップラーのツバがコンクリート面と密着した状態で引っ張られるようにします。カップラーのツバがコンクリート面と密着しないで、角度が45°以上開いた状態で引っ張るのは非常に危険です。

②カップラーを横に引っ張る形では使用しないで下さい。

③カップラーのヘッドとバーがクロスしないように注意してください。

※ワイヤーをゆるめた後は、カップラーの向きを再確認のうえ作業を行って下さい。